

平成 17 年国勢調査の結果報告

平成 17 年国勢調査は、平成 17 年 10 月 1 日現在の状況を把握するため、9 月末から 10 月上旬にかけ全国一斉に実施されました。

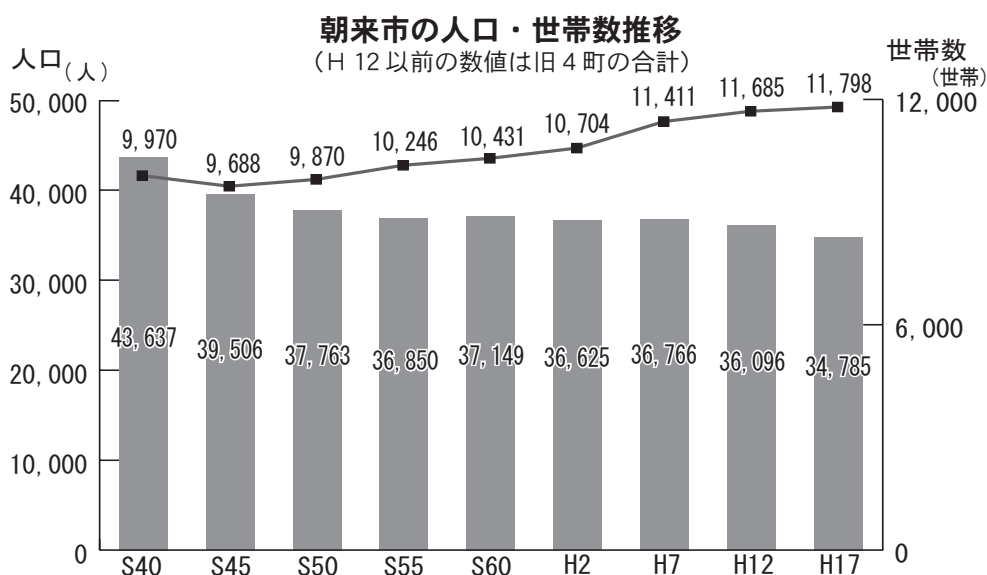
平成 17 年 12 月 19 日に、兵庫県から県内各市町の人口・世帯数について速報値の公表がありました。（この数値については国・県による精査により若干修正が加えられることもあります）

朝来市の人口につきましては、34,785 人、平成 12 年国勢調査と比較して 1,284 人、率にして 3.6%の減少となりました。

一方、世帯については、11,798 世帯、平成 12 年国勢調査と比較して 113 世帯、率にして 1.0パーセントの増加となっています。

平成 17 年国勢調査 朝来市の人口・世帯数

区 分	平成 17 年	平成 12 年	対平成 12 年国政調査比	
	国勢調査速報値 ①	国勢調査結果 ②	増減数 ①-②	増減率 $\frac{①-②}{②} \times 100$
世帯数	11,798 世帯	11,685 世帯	113 世帯	1.0%
人 口	34,785 人	36,069 人	- 1,284 人	- 3.6%
男	16,644 人	17,344 人	- 700 人	- 4.0%
女	18,141 人	18,725 人	- 584 人	- 3.1%



新聞やテレビなどで報道されているとおり、この度の国勢調査では、初めて日本の人口が減少に転じました。全国的な少子高齢化、また若者の都市部への流出による過疎化の進行など、内陸部、山間部の中小市町村の人口減少の傾向が顕著にあらわれています。

朝来市においても、但馬管内ではもっとも少ない減少率ではありましたが、この傾向は強く現れているといえます。ここで今回の速報値からみる人口減少の原因について分析しました。

● 出生数より死亡数が上回ることによる人口減（自然減）

人口が出生により増えることより、死亡により減ることの方が多。

● 転入者より転出者のほうが多かったことによる人口減（社会減）

平成 12 年 10 月現在では、現在の朝来市の範囲で生活されていたが、その後職場の異動、進学、入院等により市外に生活拠点を移された人の数が多く、逆に市内に生活拠点を設けられた人の数が少なかった。

今後、調査票の内容は集計され、随時公表されます。詳しくは兵庫県統計課のホームページ「兵庫データランド」をご覧ください。（<http://web.pref.hyogo.jp/toukei/>）

おわりに、市内を奔走いただいた 218 人の調査員の皆様、また調査にご協力いただいた全ての市民の皆様のおかげをもちまして調査を無事終了できましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

■ 問い合わせ 企画政策課 TEL 672 - 6110